

### 第31回災害対策本部員会議での知事の主な発言

#### 1. 会議冒頭の発言

- 昨日、志賀町と七尾市の避難所や和倉温泉などを中心に、詳しく現地の状況を確認した。

被災者の皆さんが、最も求めていたのは、やはり「水」と「住まい」であった。上下水道一体での一日も早い復旧と、さらなる仮設住宅の建設に向けて、調整・準備を加速してください。

加えて、志賀町においては、住民の命の砦である町立富来病院の復旧も大きな課題である。関係者が協力し、対応していく必要がある。

また、七尾市の和倉温泉の復旧・復興にあたっては、温泉街一帯の面的な整備、街づくりの観点が不可欠である。この認識を国・県・市町・関係団体でしっかり共有して、意見集約しながら進めていかなければならない。

- 応急仮設住宅については、今月12日に着工以来、順次、着工件数を増やすとともに建設を急いでいる。本日現在、1,248戸着工予定となっている。

今般、第1号として、輪島市のキリコ会館多目的広場の18戸が、明後日31日(水)、完成できる見込みとなった。さらに、来月6日(火)には、珠洲市の正院小学校グラウンドの40戸も完成できる見込みとなった。完成というのは、カギを市町へ渡すということである。

引き続き、応急仮設住宅の建設に全力で取り組んでいく。

- 本日15時に国土交通省から発表があったと聞いているが、現在、通行止めとしている能越自動車道の「のと里山空港ICから穴水IC間」については、今週末を目途に輪島方面の通行止めを解除できることとなった。

これに合わせて、「のと三井ICからのと里山空港IC間」の穴水方面への一方通行を輪島方面への一方通行に切り替えることにより、輪島への移動がスムーズになることが期待される。

支援物資の輸送をはじめ、復旧を円滑に進めるため、改めて、今はまだ、個人的なボランティアや不要不急の用事で能登に入ることは控えてください。

- 一昨日に引き続き、2次避難所に避難されている方々に対する新たな支援を紹介する。

金沢市内の宿泊施設に自家用車で避難されてきた方については、ホテルの駐車場や周辺のコインパーキング等で長期間駐車し、経済的負担が大きくなっている。

今般、これらの方々については、金沢勤労者プラザ第2駐車場、香林坊地下駐車場、兼六駐車場を無償で利用いただけることとした。明日から、県ホームページと専用ダイヤルで受付け、2月2日（金）からご利用いただけるようにしたいと考えている。

## 2. 会議最後の発言

- 引き続き、被災者の声にしっかりと耳を傾け、在宅で避

難している方を含め、被災地の避難所で暮らす方々への生活支援、ホテル・旅館などの2次避難所等で暮らす方々への生活支援、これをきめ細かく行ってください。

- 同時に、被災者の皆さんは、一日も早く、住み慣れた地域にできるだけ近い場所で、仮設住宅に入居することを望んでいる。市町と連携し、調整・準備を加速してください。あわせて、仮設住宅、みなし仮設住宅、公営住宅など、住まいについての支援内容について、高齢者にも分かりやすい広報をお願いしたい。
- 先ほど、金沢市以南の市長会の首長さんから緊急要望を受けた。2次避難等の広域避難先として、多くの被災者を受け入れていただいております、改めて感謝申し上げます。

3月16日の北陸新幹線の県内全線開業が迫る中、小松市・加賀市のホテル・旅館の2次避難所としての運営の長期化は避けなければならない。避難者の皆さんの次の住まいの見通しをお示しする段階に入ってきた。関係部局が連携して検討を進めてください。

- 明日は、内灘町とかほく市の液状化現象や避難所などを中心に、詳しく現地の状況を確認する予定としている。これを今後の対策に繋げていきたい。